

水性 シリコンアクリル外カベ用

酸性雨・酸性雪・塩害・排気ガス・紫外線に強い!



Water-Based Silicon Acrylic Paint for The Outside Wall.



水性 シリコン外カベ用

酸性雨・酸性雪・塩害・排気ガス・紫外線に強い!

Water-Based Silicon Acrylic Paint for The Outside Wall.

シリコンアクリル外カベ用



各種サイディング
モルタル・ブロック・リシン仕上
汚れに強いフッ素樹脂配合

ツヤあり

防藻剤・防カビ剤配合

乾燥時間
夏期/30分~1時間
冬期/2~3時間

塗り重ね時間の目安
夏期/2時間以上
冬期/6時間以上

標準塗り面積
(2回塗り)
5~6㎡
(タタミ3~4枚分)

14~19㎡
(タタミ8.5~11.5枚分)

3kg



●この容器は、水を加えてかきまぜられるよう、多少大きめに
●表示してある色、ツヤおよび容器の中の塗料の色は、乾いてか
●表示してある色、ツヤおよび容器の中の塗料の色は、乾いてか

商品名 水性シリコンアクリル外カベ用 品名 合成樹脂塗料(水系)
成分 合成樹脂(シリコンアクリル・フッ素)、顔料、紫外線劣化防止剤(HALS)、防カビ剤、防藻剤、水
特長

- 特殊フッ素樹脂、シリコン架橋システム及び紫外線劣化防止剤(HALS)の相乗効果により汚れにくく、耐久性が格段に優れた高性能塗料です。
- 酸性雨や酸性雪・排気ガス・塩害に強い塗料です。
- 防カビ剤・防藻剤の配合により、長期間カビ・藻(モ)・コケの発生を防ぎます。
- 厚塗りしてもタシにくく、たいへん塗りやすい塗料です。

用途
●金属系・木質系・無機セメント系・セラミック系などの各種サイディングの塗り替え
●コンクリート・モルタル・ブロックなどの外まわりの壁やヘイ

うすめ方
塗料の粘度が高くて塗りにくいときは、水で少し(5%以内)うすめます。夏期、塗表面が高温となり乾燥が速すぎて塗りにくいときは、さらに少しうすつうすめ調整します。

保管上の注意
①幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。
②直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車内などの高温になるところ、容器がさびやすいところには置かないで下さい。
③残った塗料はしっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切ってください。

取扱上の注意
①表示の用途以外に使用しないで下さい。②目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないように注意して取扱って下さい。③塗中、乾燥中も換気をよくし、その後も塗料の臭いがなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。④塗料が固まっても支障がない服装で作業をして下さい。⑤塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。⑥塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。⑦特殊なサイディング・コーキング材・シーリング材の中には、レジキが生じたり、密着しないものがあります。目立たない部分で試し塗りをして、密着することを確認してから塗って下さい。⑧コンクリート・モルタル・ブロックなどのアルカリ素材の上に塗ると、一時的に臭いが強くなる場合があります。⑨塗り重ねるときは、夏期2時間以上、冬期は6時間以上乾かしてから塗って下さい。⑩塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。⑪ペイントスプレーヤーを使用する場合は、空打状態にならないように注意して下さい。⑫容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。⑬高温になると塗膜がやわらかくなる傾向があります。また塗膜と塗膜・ビニール・レザー等が強い力で重なりあうと、くっつくことがあります。⑭やむをえず塗料を捨てるときは、水性塗料用固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。

株式会社 ASAHI PEN 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp
お客様相談室 ☎06-6934-0300

日本製

下地処理の注意
①つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗って下さい。②旧塗膜を触って粉が手につく場合や、木質系および無機セメント系のサイディングに塗る場合は、必ずアサヒペン油性シーラーまたはアサヒペン強浸透水性シーラーを下塗りして下さい。③カビがはえている所はカビトリ剤でカビをとってから塗って下さい。④藻(モ)、コケがはえている所は、水をかけながらタワシ等で取り除いてから塗って下さい。⑤鉄部に直接塗る場合は、十分にサビを落とし、サビメ塗料を下塗りして下さい。⑥新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は、施工後3週間以上経ってから行い、必ずアサヒペン油性シーラーまたはアサヒペン強浸透水性シーラーを下塗りして下さい。

塗り方		
①下地調整 	●はがれかかっている塗料やサビは、サンドペーパー・ブラシ・サンドペーパーなどを使用して十分に取り除きます。 ●ひび割れやさびなどは、あらかじめコーキング材やシーリング材などで補修しておきます。 ●塗面の汚れ(ホコリ・カビ・藻(モ)・コケ)などを取り、油分・クワスはペイント用布で拭いてよく落とします。	②養生
③よくかきまぜる 	●フタに手をそえて、フタと内壁の間にマイナスイオンライバーを差し込んで開け、揮発剤を塗料を底から十分にかき混ぜて均一にします。	④塗装-1
④塗装-2 	●広い塗面の部分は、ローラー(バウダータイプ・アサヒペンオートローラー等)を使うと、速く、楽に塗る事ができます。	⑤あとしまつ

危険

●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

救急処置
●塗った面についた汚れは落としにくくなりますので、早めに落として下さい。

ASAHIPEN CORP. 注意書きをよく読んでから使用下さい。